



「日土のみかんはかせになろう 3年生」～ミカン作り学習～

4Hクラブの皆さんとの第2回交流会は、イヨカンの摘果と五格イヨカンの杵作りです。

まず、学校の近くにある、4Hクラブの方の園地で、摘果の仕方を教えていただき、摘果作業を体験しました。摘果作業は簡単そうに見えましたが、摘果する実の選び方、もぎ方など実際に行ってみると時間も手間もかかり、大変な作業だということがよく分かりました。もいだ実からイヨカンの爽やかな香りが漂い、作業もはかどりました。

教室では、五格イヨカンの杵を作り、どんなイヨカンが出来上がるのかわくわくしました。ミカン作りについてのたくさんの質問にも丁寧に答えていただき、「みかんはかせ」に近づきつつあります。

摘果をする実は、

- 傷のある小さいもの
 - 日が当たりにくい木の内側のほうにあるもの
 - 大きくても、上向きのもの（日が当たりすぎ）
 - 実と実の間隔が近いもの
- などです。



実が傷つく原因は、「風」なんだよ。



どの実をもいだらいいのかな。

Q 実が小さいときはどうするのですか。

A 摘果をしたり、水不足の時は水やりをしたりします。

Q ミカンにとって、よい虫はいますか。

A よい虫はいませんが、害虫を食べる虫はいます。たとえば、テントウムシはアブラムシを食べます。

Q ミカン畑のふちに別の木を植えているのはどうしてですか。

A 風よけです。

Q ミカン作りで費用がかかるのはどんなことですか。

A 一番は、人件費です。そのほか、消毒や肥料にもお金がかかります。

Q 売れないミカンはどうするのですか。

A ジュースや缶詰などの加工品にします。 など

子どもたちのどんな質問にも、丁寧に分かりやすく答えてくださいました。ありがとうございました。

